

地域の経済史と企業の経営史：記録と保存、経済的価値の創出へ

研究の概要

地域の経済の歴史・企業の経営の歴史を研究しています。

歴史研究は、その地域やその企業の過去に起こったことを記録することのみならず、将来に向けての展望や従業員教育などに役立ちます。産業遺産の保存は歴史の記録のみならず経済的価値を生み出す可能性もあります。さらに、地域には多くの企業があります。企業経営者の伝記を後世に残すことは、その企業の回顧となるばかりか、将来の企業家精神の育成に貢献するでしょう。

研究の特徴

近現代の日本経済史・経営史を専攻しています。とくに、石炭産業の歴史、高等商業学校の歴史、企業家の歴史などの事例に基づいて、経済成長・人的資源・イノベーションのありかたを研究しています。とくに、中小・零細企業の事業の記録を残すことは必要だと考えています。

【このような課題に協力できます】

産業遺産の調査・報告

企業・団体などの歴史の調査

学校史の調査・作成

社史・団体史の作成

企業経営者の伝記の作成

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

山口県史の編さんに携わってきましたが、和歌山県との関わりは紀州経済史文化史研究所の活動を通して従事してきました。

研究者からのメッセージ

歴史を記録し、保存し、それを経済的価値に結び付ける方策を一緒に考えていきたいと思います。

研究分野 : 近現代日本経済史・経営史

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学経済学部 経済学科・教授・長廣利崇

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp